

## 第9回技術士制度・試験講習会実施報告

技術士資格取得を目指す受験生を対象として「第9回技術士制度・試験講習会」を開催した。参加募集期間としては1ヶ月半ほどあり昨年よりもいくぶん長い期間募集できたが、今年は23名と昨年よりも少なかった。ただし、閉会後の個別質問・相談コーナーにはほとんどの方が参加し非常に活発な質疑応答が行われた。開催にあたりご協力頂いた講師等13名をはじめご協力頂きました皆様に感謝を申し上げますとともに、当日の概要を以下の通り報告する。

日時：平成31年2月16日（土）13：30～17：00  
場所：一般社団法人 原子力安全推進協会 第1～3会議室 三田ベルジュビル13階  
主催：日本原子力学会、共催：日本保健物理学会  
参加受講者：23名（申込者：26名）

講習内容（総合司会：竹内知輝技術士）

### (1) 講習会開催にあたって

主催の日本原子力学会を代表し、教育委員会技術者教育小委員会 芳中一行委員長より「技術士資格取得の勧め、原子力学会における技術士制度への期待、試験制度の改正について」お話し頂いた。その中で制度改正やコンピテンシーについて、原子力・放射線部門設置の経緯やご自身の受験動機等もお話し頂いた。

また、共催の日本保健物理学会を代表し、伊藤照生理事より「技術士資格取得の勧め、保健物理学会における技術士制度への期待」についてお話し頂いた。その中で保健物理分野では第1種放射線取扱主任者、医学物理士、技術士の3大国家資格があり、技術士は最も難易度高い資格であり、資格取得者の能力を示すとして認められていることが紹介された。



写真1 講習会開催挨拶(芳中委員長)



写真2 講習会開催挨拶(伊藤理事)

### (2) 技術士制度・試験の紹介（変更点の整理）及び試験受験申込書：久保田信利技術士

久保田技術士から技術士法に定められた技術士制度、制度改正の経緯、ポイント（特にコンピテンシー）、第二次試験の変更点、受験申込書の記載内容等が紹介された。

また、ご自身でどのように受験申込みをされたかもお話し頂いた。

### (3) 試験の傾向と対策：澤崎浩昌技術士

澤崎技術士から第一次試験及び第二次試験の科目、試験時間及び配点、過去問題の分析

とそれに対するご自身としての見解をご説明頂いた。また、第二次試験における変更点とご自身でどのように勉強されたかもお話し頂いた。

(4) 技術士試験への心構え・体験談：吉田誠技術士、高橋優也技術士

吉田技術士、高橋技術士の両名からはそれぞれ技術士制度の概要に加え、ご自身の経験に基づく第二次試験の筆記及び口頭試験における勉強方法、試験時の注意点や心構え等が紹介された。また、業務を生かした知識力UPの話や受験にあたってのテクニックについてもお話し頂いた。

(5) 全体質問：(各講師)

受講者から経験年数の整理の仕方、講師自身の受験動機、技術士としての業務への取り組み状況、過去問題に対する勉強方法、技術士取得のメリット、コンピテンシーの視点からの受験対策等の質疑があり、各講師が回答した。



写真3 全体質問

(6) 閉会挨拶：溝口真樹技術士

閉会の挨拶をすると共に自身の受験動機等を紹介した。また、本講習会を有効活用し、モチベーションを維持して合格を目指してほしいと技術士を代表して受講者へエールを送った。続いて、閉会後の個別質問・相談コーナーの説明を行った。

(7) 個別質問、相談コーナー

各講師に加え、天田佳孝技術士、河野繁宏技術士、小林哲朗技術士、竹内知輝技術士、井上賢紀技術士、川上尚志技術士、菊澤信宏技術士、溝口真樹技術士が担当した。概要質問、選択科目（原子炉システム・施設、核燃料サイクル及び放射性廃棄物の処理・処分、放射線防護及び利用と）の4つのブースに別れ、個別の質疑応答を行った。全体質問よりも話がしやすい場面でもあり、より個人的な相談にも対応できるため、ほとんどの受講者が利用し、終了時間を超えて熱心な質疑応答が行われた。



写真4 質問、相談コーナー

各ブースでの主な質問は以下の通りであった。

- 選択科目の選定方法について
- コンピテンシーについて  
(コミュニケーションで求められるものは)
- 選択科目が統合された経緯について
- 業務経歴票の書き方について
- 業務経歴及び業務内容について
- 上記に記載する業務の選び方について
- 記述試験の対策について  
(主に必須科目が記述試験になったことに対して)
- 第一次試験、第二次試験の勉強方法について
- 受験に向けての情報収集の仕方について
- 受験勉強に対する取り組み方法について
- 知識を広げるための資料等について
- 口答試験に対する対策について

(8) 謝辞

会場を提供していただいた原子力安全推進協会様をはじめ、休日にもかかわらずボランティアでご協力いただいた各技術士の皆様方に御礼申し上げます。

以上